平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	公園維持管理に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚　勝彦			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	公園サポーターとのコミニュケーションを大切にし、各公園の状況などに応じた管理を行う。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	引き続き、公園サポーターとのコミニュケーションを大切にし、各公園の状況などに応じた管理を行う。
②①に基づく取組み結果	各公園の状況などに応じた管理を行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市が管理する都市公園 ふれあいの森	意図（対象をどうするのか）	来園者に対して気持ちの良い公園を提供する。
②事務事業の概要	都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事を実施する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	市民との協働管理においては、高齢化が進んでいる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	公園サポーターの公園管理によって、来園者に対して気持ちの良い公園を提供することができた。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	公園サポーター数	33	34	31	人	業務取得
	ii	公園サポーター管理公園数	39	40	39	箇所	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		141,667	144,364	金額（千円）	内容	142,918
	国支出金（千円）			100,997	公園管理委託	
	県支出金（千円）			20,944	公園維持工事	
	市債その他（千円）					
	一般財源（千円）	141,667	144,364			142,918

Ⅳ　評価・検討

①課題	都市公園数の増加や既存施設の老朽化に伴う維持管理費の増加。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	7拡充
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	公園管理において、地域住民の参加を増やし、公園に対する愛着と意識を高める必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初	0	H28からの繰越	
				H28⇒29繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	緑化推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚　勝彦			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	ふれあいの森、保全林等の指定により、緑の保全に努め、市民に緑と触れ合える場を提供する。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	公園用地の賃貸借、ふれあいの森及び保全林等の指定により、緑の保全に努め、市民に緑と触れ合える場を提供する。
②①に基づく取組み結果	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、みどりの保全助成金の交付などを行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市公園、ふれあいの森等	意図（対象をどうするのか）	市民が利用できる緑地の確保、土地所有者の負担軽減。
②事務事業の概要	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借及び保全林等の指定並びに用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	個人所有の樹林地の適正な維持管理には相当な費用を要することから、個人で維持管理していくのが難しく、相続発生などをきっかけに宅地化する傾向にある。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：①用地取得の財源として、みどりの基金に積立を行った。②緑道整備事業の用地購入費の支払いを行った。③公園用地の賃貸借を行った。④保全林、保存樹木及びふれあいの森にみどりの保全助成金の交付を行った。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	市民一人当たり公園面積	2.91	2.91	2.97	㎡/人	業務取得
ii						
iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）	12,506	73,408	金額（千円）	内容	22,764
国支出金（千円）			50,135	みどりの基金積立金	
県支出金（千円）			11,622	用地購入費	
市債その他（千円）		1,000	6,455	公園用地借上料	
一般財源（千円）	12,506	72,408	4,119	みどりの保全助成金	22,764

Ⅳ　評価・検討

①課題	保全林、ふれあいの森、借地公園について、相続発生などによる急な買い取り要望への対応が求められる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	1低い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	緑の基本計画に掲げた緑の将来像の実現に向けて、緑の保全と緑化の推進が必要なため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初	0	H28からの繰越	
				H28⇒29繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	地区公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚　勝彦			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	粟野地区公園第二期整備の取得済み用地の保全工事を実施するとともに、用地の早期取得を目指す。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	粟野地区公園の用地取得に向けて引き続き交渉を継続していく。
②①に基づく取組み結果	保全工事を実施するとともに、用地交渉を行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	地区公園	意図（対象をどうするのか）	整備
②事務事業の概要	地区公園整備のため、用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	市制記念公園の未買収地の地権者から買取りを要望されている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：粟野地区公園第二期整備区域の外周に木柵を設置し、竹林の保全工事を実施した。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	粟野地区公園第二期用地取得率	55.3	66.9	66.9	%	業務取得
ii	市民一人当たり公園面積	2.91	2.91	2.97	㎡/人	業務取得
iii						

③事務事業のコスト

	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	45,529	9,485			0
国支出金（千円）	10,640		6,696	実施設計	
県支出金（千円）			2,789	保全工事	
市債その他（千円）	29,100				
一般財源（千円）	5,789	9,485			

Ⅳ　評価・検討

①課題	粟野地区公園の用地取得が完了しないため本工事に着手できないこと、及び市制記念公園の用地取得財源の確保。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	2普通	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	緑の将来像の実現に向けて、市民一人当たり公園面積の目標水準を目指し、整備を進めていく必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	実施設計、保全工事
②計画に対する事業実績	実施設計、保全工事の実施
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成29年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
5,000	11,696	当初	5,000	9,485	H28からの繰越	6,696
		H28⇒29繰越	6,696		現年分	2,789
		補正	0			
		流用・充当	0			
平成30年度への繰越額（単位；千円）			0			

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	街区公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚　勝彦			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	東道野辺ふれあいの森の用地取得を完了させるとともに、実施設計を実施する。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	東道野辺ふれあいの森整備工事及び鎌ケ谷一丁目ふれあいの森用地先行取得を実施する。
②①に基づく取組み結果	東道野辺ふれあいの森の用地取得を完了させるとともに、実施設計を実施した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	街区公園	意図（対象をどうするのか）	整備
②事務事業の概要	街区公園整備のため、用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	東道野辺ふれあいの森の整備にあたり、地元自治会から防犯対策として防犯カメラの設置等を要望されている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	東道野辺ふれあいの森は用地取得、実施設計及び用地測量を実施した。 鎌ケ谷一丁目及び丸山三丁目ふれあいの森は用地測量を実施した。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	東道野辺ふれあい森用地取得率	65.4	92.2	100	%	業務取得
	ii	市民一人当たり公園面積	2.91	2.91	2.97	㎡/人	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		127,918	43,921	金額（千円）	内容	98,267
	国支出金（千円）	39,360	14,089	34,217	用地購入費	29,000
	県支出金（千円）			5,378	実施設計	
	市債その他（千円）	84,800	22,900	3,212	用地測量	59,000
	一般財源（千円）	3,758	6,932			10,267

Ⅳ　評価・検討

①課題	用地先行取得の買戻しは期限があり、財源となる国費の確保が課題。東道野辺ふれあいの森は寄付用地の崖地対策の工法と財源が課題。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	緑の将来像の実現に向けて、市民一人当たり公園面積の目標水準を目指し、整備を進めていく必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	用地取得、実施設計など	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	用地取得、実施設計など実施	60,419	60,419	当初	56,865	43,921	H28からの繰越 0
③達成状況	完了			H28⇒29繰越	0		現年分 43,921
④未完了・非着手の理由				補正	3,554		
				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）	0				

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	公園施設長寿命化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚　勝彦			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	長寿命化計画を基に維持管理を実施。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	引き続き、長寿命化計画を基に維持管理を実施。
②①に基づく取組み結果	長寿命化計画を基に維持管理を実施した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ケ谷市内の公園施設	意図（対象をどうするのか）	既存施設の長寿命化対策及び安全対策の強化を進める。
②事務事業の概要	公園施設の長寿命化計画を定め、計画的な維持管理を行うことにより、安全の確保と、維持管理予算の平準化を図る。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	公園施設の老朽化が急速に進む中で、計画的な維持管理に取り組むことが必要となっている。誰もが安心して利用出来る都市公園の管理が望まれる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	長寿命化計画を基に市制記念公園外１１公園の遊具を更新をした。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	対象公園数	176	176	176	箇所	業務取得
	ii	長寿命化対策計画対象施設数	8.8	11.1	14.3	%	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		10,090	18,184	金額（千円）	内容	16,000
	国支出金（千円）		7,911	17,700	遊具更新工事	8,000
	県支出金（千円）					
	市債その他（千円）	5,000	5,000			5,000
	一般財源（千円）	5,090	5,273			3,000

Ⅳ　評価・検討

①課題	施設の老朽化が進む中、修繕・更新費用の平準化を図り、計画的に事業を進めることが課題。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	7拡充
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	安心、安全な公園を目指し、公園施設の老朽化に対応した更新を実施していく必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	施設の修繕・更新	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	公園施設長寿命化整備	20,300	20,300	当初	20,300	18,184	H28からの繰越 0
③達成状況	完了			H28⇒29繰越	0		現年分 18,184
④未完了・非着手の理由				補正	0		
				流用・充当	0		
		平成30年度への繰越額（単位；千円）		0			

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	桜×鎌ケ谷＝魅力アップ事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚　勝彦			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	市制記念公園内に6本植樹する。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	市制記念公園及び総合運動公園に8本植樹する。
②①に基づく取組み結果	市制記念公園内に6本植樹した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	新鎌ケ谷地区から市制記念公園周辺の「桜ゾーン」	意図（対象をどうするのか）	賑わいの創出による市の魅力アップ
②事務事業の概要	新鎌ケ谷地区から市制記念公園周辺の「桜ゾーン」に、里親制度により桜を植樹し、人を誘導し、回遊性を生み出すことで賑わいを創出し、市の魅力アップを図る。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	７４本の植樹を計画していたが、具体的に植樹可能箇所を調査した結果、５９本の植樹を行う計画に変更となった。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	桜の里親制度による桜の植樹

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	植樹本数	24	32	38	本	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		4,933	3,913	金額（千円）	内容	1,448
	国支出金（千円）			2,757	桜の植樹工事	
	県支出金（千円）			1,134	植樹帯改良工事	
	市債その他（千円）	720	120			160
	一般財源（千円）	4,213	3,793			1,288

Ⅳ　評価・検討

①課題	歩車道や地下埋設物への影響から将来の桜の成長に見合う植樹場所の確保が難しい。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	2普通	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	2普通		
③上記評価の理由	桜×鎌ケ谷＝魅力アップ事業実施計画に基づき、引き続き桜の植樹を行うことで、市の魅力アップを図っていくため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	植樹工事	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	桜の植樹6本実施	5,150	5,150	当初	5,150	3,913	H28からの繰越 0
				H28⇒29繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0		現年分 3,913
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		平成30年度への繰越額（単位；千円）	0				